

一年の計は元旦にあり

私事で恐縮ですが、今年の箱根駅伝はわが母校、青山学院大学が初優勝を果たしました。しかも「当分破られないだろう」と誰しも思っていた、2012年の東洋大学優勝タイム 10 時間 51 分 36 秒を上回る 10 時間 49 分 27 秒という驚異的なタイムで栄冠を手に入れました。この栄光のために選手はどれほどの練習を積み重ね、節制をしてきたのでしょうか。素直に母校の栄冠を祝うとともに、四月の選挙を控えて「こいつぁ春から縁起がいいや」と唸りたくもなります。

ところでよく知られたこの台詞（せりふ）は、「三人吉三廓初買」という歌舞伎演目の中に出てきます。ご覧になった方はご存知でしょうが、吉三と名乗る三人の盗賊の話です。景気のいい台詞に反して筋立てはそんなに明るいものではありません。盗賊という稼業を通して人生の闇の部分や運命、因果応報などがテーマとして語られます。人知を超えた力で自分の人生が廻り、なかなか思い通りにならない人物が描かれています。

人は誰しも「善く生きたい」と願っていると思います。しかし、時にはどんなにがんばってみてもうまくいかないことがあるものです。そういう時は「こんなに頑張っているのになぜだ？」と愚痴のひとつも出るものです。なかには自暴自棄になってその後の人生を誤る人も出るでしょう。そんな時にこそ一歩下がって「そういうどうにもならないことで人生は回っているのだ」と、客観的に見る冷静さが大切だと思います。

禍福は糾える縄の如し。人間万事塞翁が馬。眼前の事象に一喜一憂するのではなく、全体をじっくりと見通し、将来のあるべき姿に一步一步着実に近づいていく努力こそが大切だと思います。私の目指す政治の理想は何か？ その理想に向かって私は日々精進しているのか？ わが母校の雄姿を見て日々の精進の大切さを改めて感じた正月となりました。まさに「一年の計は元旦にあり」です。皆様にとってもこの一年がより良い年になることを願っております。

静岡県議会議員

天の一